

# PRESS RELEASE

同時発表:

国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・  
宮城県政記者会・仙台市政記者会・東北電力記者クラブ・  
東北専門記者会・大阪市政記者クラブ

## 森トラストグループ総合震災訓練 東京・仙台・大阪の3拠点にて3月1日(木)実施

～東日本大震災の経験を踏まえ「グリッド型BCP」の有効性を実証～

森トラストグループは、東日本大震災発生から1年を前にした3月1日(木)、東京・仙台・大阪の3拠点においてグループ各社が連携した総合震災訓練を実施いたします。

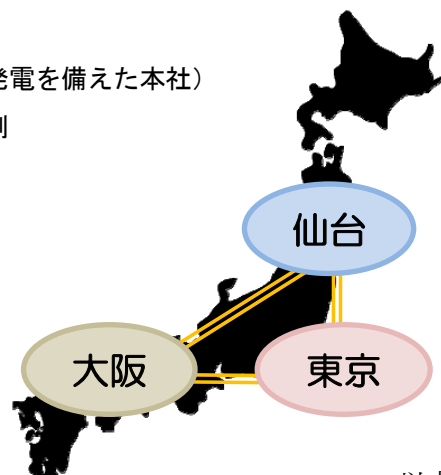
本訓練では、平日夕方、首都直下型地震により東京都心部で震度6強の地震が発生し、停電・断水などの極めて厳しい状況となることを想定します。本社(東京・虎ノ門)の震災対策本部と都心部の各物件ならびに仙台・大阪をWEB会議システムを用いた独自のネットワーク(「グリッド型BCP(事業継続計画)」)で結び、全国94施設を効率的に管理できる体制を構築します。各施設と連携し、震災ポータルサイトを利用した情報共有、帰宅困難者対応、電気自動車による物資輸送、各施設における被害対処など各種想定事例に対応するシミュレーションを行います。

昨年、当社グループは仙台において東日本大震災を経験しましたが、東京・仙台間の連携が奏功し、仙台の保有物件を中心に延べ約11,000人の被災者の受け入れなど様々な支援活動を行うことができました。この経験を踏まえ、今回の訓練では、東京・仙台・大阪の3拠点で、より広域的なバックアップ体制を築き、「グリッド型BCP」をさらに強化することを目的としています。

森トラストグループでは、引き続き定期的な訓練を実施し、強固なBCP及びDCP(地域継続計画)の確立に努めてまいります。

### 《総合震災訓練の主な内容》

- ・5分で立ち上がる震災対策本部(制震構造・非常用発電を備えた本社)
- ・3拠点(東京・仙台・大阪)によるバックアップ体制
- ・全国約90施設を効率的管理
- ・各種ITツールを活用した情報共有  
(震災ポータルサイト、タブレット型情報端末)
- ・帰宅困難者の受け入れ対応
- ・電気自動車による物資の輸送
- ・震災井戸からのろ過水供給



以上